



文京区議会だより

第199号

令和3年(2021年)4月25日発行 編集・発行 文京区議会 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21 電話(3812)7111(区役所代表) (5803)1312(区議会)

文京区議会ホームページアドレス <https://www.city.bunkyo.lg.jp/kugikai>

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

【表1】 令和2年度補正予算 (2月)

(単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第5回)	142,528,851	△ 4,373,105	138,155,746
国民健康保険特別会計(第3回)	19,528,970	△ 141,951	19,387,019
介護保険特別会計(第2回)	16,467,125	△ 351,496	16,115,629
後期高齢者医療特別会計(第2回)	5,435,644	△ 78,269	5,357,375
合計	183,960,590	△ 4,944,821	179,015,769

【表2】 令和3年度当初予算

(単位:千円)

会計別	予算総額
一般会計	107,991,000
国民健康保険特別会計	18,643,000
介護保険特別会計	16,912,000
後期高齢者医療特別会計	5,322,000
合計	148,868,000

令和3年度予算決まる

今定例議会では、予算審査特別委員会を設置し、令和3年度当初予算の審議を行い、一般会計などの4会計総額1千488億円余の予算が成立したのを始め、条例改正、補正予算など区長提出の合計29議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、議員提出の規則1件及び意見書1件を可決しました。

なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

2月定例議会

議会期間 2月9日から3月26日までの46日間

本会議第1日(2月9日)

- *区長から区政運営について施政方針が述べられました。
- *議員提出の4議案、区長提出の22議案及び請願8件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。そのうち、区長提出の3議案については、総務区民委員会を即日開催して審査し、委員会の決定どおり可決しました。

本会議第2日(2月12日)

- *代表質問(自民党・無、日本共産党、公明党………)
- *本会議第3日(2月15日)
- *代表質問(市民の広場、文京みらい、創………)
- *本会議第4日(2月17日)
- *代表質問(永久の会、自民党・無………)
- *本会議第5日(3月10日)
- *区長提出の15議案を付託委員会

3月11日(24日)

- *予算審査特別委員会で、令和3年度当初予算4議案を審査しました………
- *本会議第6日(3月26日)
- *議員提出の規則1件及び意見書1件を可決し、条例4件を否決しました。
- *区長提出の令和3年度当初予算4議案を付託委員会の決定どおり可決しました。
- *区長提出の追加1議案の審査

審議した案件

▽区長提出案件

- 条例……… 18件(可決)
- 事件……… 3件(可決)
- 予算……… 8件(可決)

(上記表1、表2)

請願

▽議員提出案件

- 条例……… 4件(否決)
- 規則……… 1件(可決)
- 意見書……… 1件(可決)
- 請願……… 10件

「10件の内訳は、今定例議会付託8件、継続審査分2件」

◇は継続審査分()は付託委員会不採択となったもの

- 場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願 (総務区民)
- 消費税率5%への引き下げを求める請願 (総務区民)
- 核兵器禁止条約に署名・批准を求める請願 (総務区民)
- 「文京区都市マスタープラン」の見直しと併せ、新型コロナウイルス危機を契機とした新しいまちづくりの方向性も盛り込みつつ、文京区としての総合的で一貫性のある

区長提出案件

◎令和2年度文京区一般会計補正予算

指定管理者制度導入施設感染症対策等負担金、新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費を新規計上し、新型コロナウイルス対策の事業継続支援補助、私立保育園施設整備補助に要する経費を追加計上するものです。また、新型コロナウイルス対策の家賃助成事業、児童の保育委託に要する経費を更正するほか、今後の学校改築等に備え、学校施設建設整備基金へ積立てを行うものです。

◎文京区自転車駐車場条例の一部を改正する条例

飯田橋臨時自転車駐車場を新設するほか、規定を整備するものです。

※全ての議案は、2面に掲載しています。

「新型コロナウイルス感染症に係る区の対応に関する要望書」を区に提出

1月29日に、区長及び教育長に対して下記の要望書を提出しました。

【要望内容(要旨)】

- ワクチン接種については、シミュレーションを着実にを行い、円滑実施に努めること。また、区民にワクチンの正しい情報や知識が伝わるよう、効果的な周知、広報に意を用いること。
- 感染症患者に対し、スムーズな入院調整に努めるとともに、自宅待機を要請されている患者の減少に向け、入院受入体制の拡充を国及び都に要望すること。また、自宅待機中の重症化を防ぐため、更なるフォローアップ体制の構築を検討すること。
- 感染症回復者及びその家族、施設職員等の精神面のケアと社会的偏見の払拭に努めること。
- 地域コミュニティを維持し、区民が人と人との絆を感じることができるよう、感染防止対策を適切に講じたコミュニティ活動の支援を行うこと。
- 高齢者の体力・精神面での落ち込みを防ぐため、生活支援や情報発信等に意を用いること。
- 区立小・中学校の児童・生徒に一人1台タブレット端末を配備し、対面授業とオンライン授業を組み合わせる「ハイブリッド授業」の実施に向け、端末の整備を滞りなく行うとともに、教員研修やソフト等を含めた環境整備を着実に進めること。
- 緊急事態宣言発出の影響を受け、経営が更に厳しくなる中小企業等について情報収集を行い、経営を下支えする支援につながる補助制度の情報提供を行うなど、相談支援に努めること。また、区においても国や都の補助制度を活用し、必要な支援の拡充を検討すること。
- 感染症の影響を受け、通所施設の利用控え等、厳しい経営を余儀なくされている介護・障害福祉サービス事業者に対しては、事業基盤を維持するためにも、国・都の施策との整合性も図りながら、引き続き効果的な支援策を検討すること。

詳細については、右記のQRコードから区議会ホームページをご覧ください。



議員提出案件

可決した規則 1件

◎文京区議会会議規則の一部を改正する規則

出産のための会議欠席の規定等を整備するものです。

可決した意見書 1件

◎婦人保護事業を当事者の尊厳の回復や自立支援に基づく制度又は法の下で実施するために、速やかな検討を求める意見書

3月臨時議会

議会期間 3月31日の1日間

*区長提出の1議案の審査を総務区民委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

●次回の定例議会は、6月1日(火)から開かれます。詳細な日程は、区報、ホームページ、区設掲示板等でお知らせします。

●議案・委員会資料、請願は、ホームページでご覧になれます。

予算審査特別委員会報告(要旨)

令和3年度当初予算案を審議するため、2月9日の本会議で20人の委員をもって構成された予算審査特別委員会は、委員長に田中和子委員(市民の広場)、副委員長に松平雄一郎委員(自民党・無)を選出し、3月11日から24日まで審査を行い、一般会計を始めとする4予算案をいずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

審査に際し、一般会計及び国保特別会計の修正案が日本共産党及び文京みらいから提出されましたが、審査の結果、否決されました。
○総括質疑
問 令和3年度予算の特徴は。
答 新型コロナウイルス感染症への対応と「文の京」総合戦略に掲げる主要課題等を解決するための予算を優先した。

歳入については、特別区税納税義務者の減や法人住民税の減収見込みによる前年度比13億円の減、再開発事業助成の進捗や都市・地域再生緊急促進事業助成の事業終了による国庫支出金の前年度比約30億円の減等を見込んでいたが、事業を着実に実施していくため、過去最大となる90億9千900万円を財政調整基金から繰り入れ、予算編成した。

○一般会計―歳入(意見・要望)
①特別区民税については、納税相談で滞納者の生活状況等を細かく聞き取り、個々の状況に応じ適切に支援制度等を案内すること。また、ガバメントクラウドファンディングの一層の活用を検討すること。
②都補助金に関連して、子育て訪問支援事業は、区民のベビーシッター利用を支援する先駆的な取組であるが、都の新たな財源を活用して事業を拡大する際は、利用者にかりやすいものとする。

○一般会計―歳出(意見・要望)
①町会・自治会補助事業費については、町会・自治会が区のコミュニティにおいて大きな役割を果たしており、コロナ禍の中で活動を続けるために様々な取組を支援すること。
②防災フェスタについては、より多くの区民が防災に関心を持てるよう、今後もオンラインを活用するとともにリアルでの取組も充実させること。
③キャッシュレス決済によるポイント還元事業補助については、高齢者など不慣れな方々に引き続き丁寧な対応を行い利用促進に取り組むこと。
④認知症フューアアッププログラムについては、今後、参加者の声を基にプログラムを改善して継続的に参加できる事業としていくこと。

予算に対する各会派の態度(要旨)

自民党・無
新型コロナウイルス感染症から区民の生命と健康を守り、地域経済と社会の復興を図り「文の京」総合戦略に掲げる主要課題の着実な実現に向けて果敢に基金を取り崩し、予算編成をしたことを評価する。
「安心を取り戻し、希望を実現する」ため、計画的なワークチン接種を実施し、カーボンニュートラルやデジタル改革を推進し、区民サービスの向上を図り、医療と介護連携強化、防災対策支援の促進、地域コミュニティ強化、GI G Aスクール構想の加速等、95項目に及ぶ提案を解決することを要する。

日本共産党
以上の意見を付し自民党・無所属は4会計に賛成する。
区民の命をくらし守るために、PCR検査拡充と保健所体制強化でコロナ感染防止策を。中小事業者支援策の拡充やシビック改修先送りし公的住宅整備、子どもの貧困対策、35人学級先行実施、学校給食無償化、旧元町小・元町公園の文化財指定を。生活保護は権利と明記し、東京五輪は中止、マイナンバー反対。一般国保、介護、後期高齢に反対。

公明党
令和3年度の一般会計は1079億円の予算となりました。我が会派が日頃より要望している事業が多く盛り込まれたことを評価し、適切な予算編成をされたものと思います。
文京子育て
災害対応型の地震体験車・医療漫画展で性教育・児童が選択のランドセルカバー・電動B1ぐるぐるバス・子供防災マップ・区報全面刷新・期間近の防災食や衛生用品を区民へ・フェーズフリー教育で防災給食等要望し4会計賛成。

市民の広場
コロナ禍で区民の命を守るためPCR検査拡大とワークチン接種体制整備、区内事業者の支援を求める。生産年齢人口減少を防ぐ施策、保育所待機児解消と育成室増室、障害者等の住宅確保、福祉避難所へ直接避難の実現を。一般国保、介護保険会計は賛成、後期高齢者医療会計は反対。

創
「創」の要望実現を評価。コロナ経済対策。コロナワークチン接種は円滑に。子どもタブレット配付への指導とルールづくり。B1ぐるぐる第4路線児童遊園・公園再整備。押印廃止、電子申請。江戸川橋まで都電延伸。自転車マナー啓発。ゼロカーボンシティ宣言4会計予算に賛成する。

議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns for committee, proposal name, and voting results (賛成, 反対, 結果). Includes sections for '令和3年2月定例議会' and '令和3年3月臨時議会'.

要請書

文京区議会は、貴国が昨年11月に新たな臨界前核実験を実施したとの報道に接した。このことは、国際社会における平和への願いを無視するともにも、核全廃への取組を踏みにじるものであり、強い憤りを禁じえない。ここに貴国に対して厳重に抗議するとともに、臨界前核実験の中止を重ねて強く要請する。

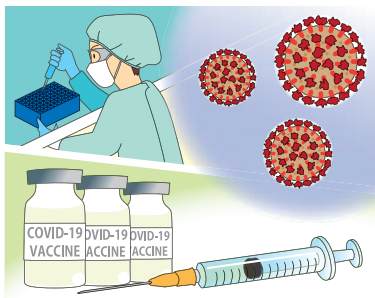
代表質問(要旨)



自民党・無所属 白石 英行

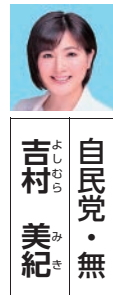
新型コロナウイルスワクチン接種と積極的疫学調査等の実施を

問 65歳以上のワクチン接種を8会場で実施予定だが、その決定経過を伺う。また、65歳未満の接種と、集団免疫獲得までの積極的疫学調査や行政検査の実施について伺う。



教育のデジタル化推進でプロジェクトチームを

問 区独自で国私立大学や民間の力を活用し、AR/VRの活用やPBL(課題解決型学習)の深化、外部人材活用や学習が困難な児童・生徒支援等の研究実践を求め、伺う。



自民党・無所属 吉村 美紀

主権者教育の充実を

問 子どもたちが主権者として必要な資質・能力を確実に身に付けられるよう、主権者教育の一環として小学6年生以上の児童・生徒が議会を体験できる模擬議会の開催等を望むが、見解を伺う。

AED配備情報をマップに記載し区民に周知を

問 迅速な救命措置を行うためには、AEDの配備情報を区民が把握している必要がある。区が発行する防災マップ等に必要最低限の情報を記載して、AEDが街中のどこにあるのかを把握できるような広報活動を行ってほしいが、か



日本共産党 金子 てるよし

新型コロナウイルス感染症入院・自宅療養状況は

問 現在の自宅療養者と入院・療養調整中の人数、1月の陽性者数と入院及び自宅療

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

養者数を12月対比の伸びとともに伺う。また、調整中に亡くなられた方は何人か。

本郷保健所の復活を

問 新型コロナウイルス変異株による感染拡大等を考慮し、本郷保健所を復活させ、積極的疫学調査等の感染症対応業務とワクチン接種が同時にできる体制にすべき、伺う。

手話言語条例を制定し、聴覚障害者施策の充実を

問 手話言語条例を本区も制定し、聴覚障害者施策を充実させるべきだが、見解を伺う。区長 手話は聴覚障害者とコミュニケーションを図る上で重要な手段の一つであり、制定については、今後当事者を含む関係団体と協議していく



公明党 松丸 昌史

糖尿病の重症化予防対策を

問 新型コロナウイルス感染症から区民の命を守る観点から、治療中断者も含めた糖尿病の重症化予防対策が重要と考えるが、見解を伺う。

障害者雇用の支援強化を

問 障害者や難病患者の雇用に関する相談体制の強化や、国や都の制度を活用して、テレワーク等の多様な働き方が選べるよう、企業と障害者をつなぐ支援や訓練の場の整備を強化すべき、見解を伺う。

ひとり親家庭支援について

問 子どもが最善の利益を守るため、ひとり親家庭への支援を整備し、安心して子育てできる環境を拡充すべきと考えるが、見解を伺う。



市民の広場 田中 和子

新型コロナウイルス入院待機者へ寄り添う支援を

問 感染拡大防止には徹底した検査と隔離が必要だが、流行初期には検査が受けられず現在入院待機で隔離できない状況をとらえ、変異株等による感染拡大に備えた対策をどう立てているのか、伺う。

区営住宅の建て替えに

問 より多くの方が安全で快適に住めるよう、区営住宅の建て替え計画に踏み出すべき区長 現時点で建て替える予定はないが、将来的に建て替える場合は、計画的な実施に向け、多角的に検討する。

新生児マススクリーニング検査の追加を

問 現在の新生児マススクリーニング検査では、PID(原発性免疫不全症)等の疾患が発見できないため、新たな検査を追加することを文京区から始めてほしいが、か



文京みらい 松下 純子

楽しみながら寄付できる「くるくるコイン」の設置を

問 税外収入を増やす取組として、「くるくるコイン」募金箱を設置してはどうか、区長 設置場所等の課題を含め今後の研究課題とする。

行政のデジタル変革(DX)全庁展開と進捗管理を

問 区民の利便性向上のためオンラインで完結する行政手続をできる限り増やしてほしいが、全庁的なデジタル化の進捗管理をどう行うか、伺う。

区独自の手話言語条例制定に向けた決意は

問 手話言語条例やコミュニケーション条例の必要性をどう感じているか。区独自の条例制定に向けての決意を伺う。



創 上田 ゆき

新型コロナウイルスワクチン接種分りやすい情報周知を

問 65歳以上の集団接種の予約がスムーズに行われ、希望者が確実に接種できるように、正しく分かりやすい周知の方策が必要だが検討状況を伺う。

区政の舵取りは、いかに

問 行政の長として区政を運営する中で、幾度となく大きな政策判断を迫られる場面が生じると思うが、その際の判断材料は何であり、どこに判断基準を置いているのか。

軽度認知障害(MCI)の発見で認知症予防を

問 軽度認知障害の段階で早期にリスクを自覚し、生活習慣の改善や医療との並行により、未病段階で回復を目指すようにすべき、いかがか。



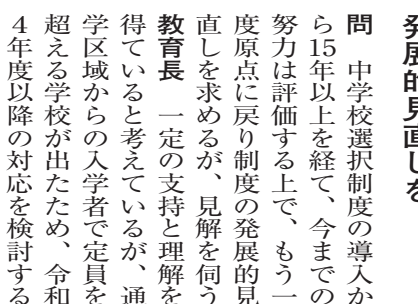
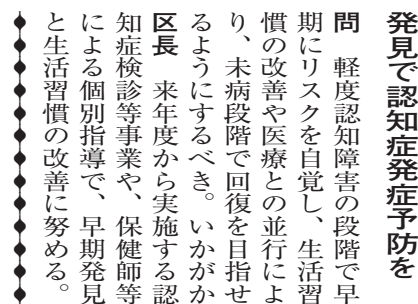
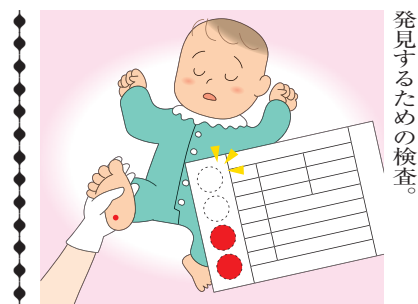
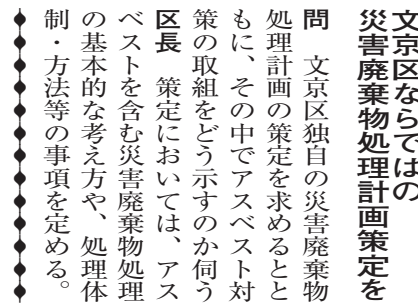
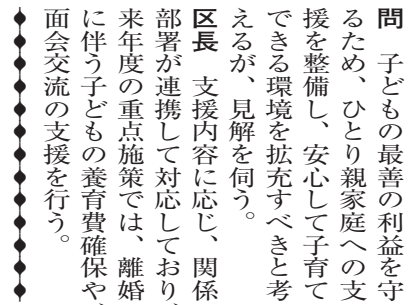
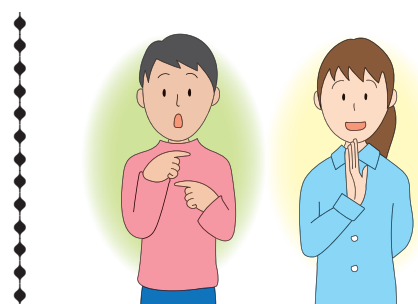
永久の会 山本 一仁

中学校自由選択制の発展的見直しを

問 中学校選択制の導入から15年以上を経て、今までの努力は評価する上で、もう一度原点に戻り制度の発展的見直しを求めるが、見解を伺う。

区独自の手話言語条例制定に向けた決意は

問 手話言語条例やコミュニケーション条例の必要性をどう感じているか。区独自の条例制定に向けての決意を伺う。



委員会活動

常任委員会

2月定例議会の議会期間のほか、1月25日に総務区民・文教委員会を、3月31日に総務区民委員会を開催しました。

総務区民

1月25日 報告事項1件
2月9日
3月4日・8日 報告事項8件
3月31日

報告に対する主な意見等

「文の京」総合戦略における戦略シートの管理に当たっては、いつ、どのように更新したか表示するなど、より分かりやすいシートにすること。また、主要課題に対しての取組の成果や、事業の優先順位、SDGsの考え方が見えるよう改善すること。



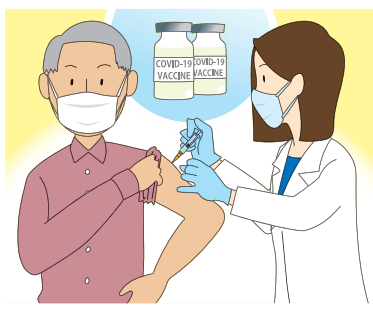
文京区男女平等参画推進計画の推進状況評価と区民調査の結果が報告された。

データDVの予防に関しては、若年層がどういった媒体で情報を得ているのか、その動向を的確に捉え、啓発活動を充実させること。

また、暴力やハラスメント、性の多様性等に悩む区民が、誰にも相談できず社会的に孤立することがないように、相談先の選択肢を増やし、周知す

●は、審査の過程で出された主な意見・要望です。

接種に向けたワクチン搬送体制や医師会・医療機関等との連携も着実に進めていくこと。



厚生

3月1日 報告事項7件
3月10日 報告事項1件
3月26日 報告事項1件

報告に対する主な意見等

新たな地域福祉保健計画案における高齢者・介護保険事業計画では、中長期的な視点を見据え、東京大学高齢社会総合研究機構の協力を得ながら、24時間対応の在宅医療や介護サービスを提供できる体制を検討する。高齢者が可能な限り在宅で安心して暮らせるよう、地域の在宅医療等を支える職種と連携し、都市型の先進モデルを構築すること。

●文京区成年後見中核機関には、成年後見制度の利用が進むように、関係機関との連携体制の強化を図ることが求められる。支援を必要とする区民の早期発見や後見人の担い手の育成等に向けて、委託先である社会福祉協議会と十分に協議し取り組むこと。

●令和3年度新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け接種に当たり、集団接種会場においては、重篤な副反応が生じた場合の対応に万全を期すように取り組むこと。

また、区民にリアルタイムで正しい情報を発信し、個別

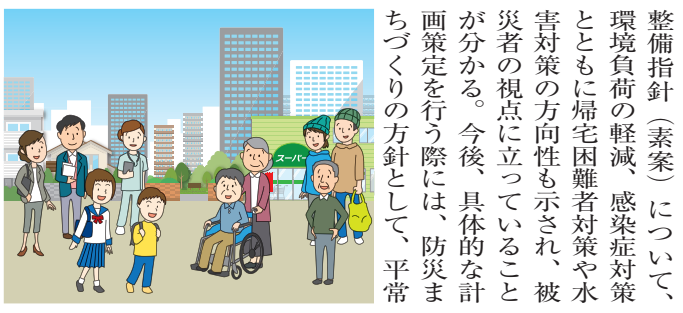
建設

3月3日 報告事項5件
3月10日

報告に対する主な意見等

●土砂災害時における崖下建築物の安全性確保のための新たな助成等、崖等整備資金助成事業の拡充については、近年の集中豪雨や地震などに備え、崖の整備は喫緊の課題と認識している。特別区の中でも積極的な取組を行っている本助成事業については、着実に活用されるよう、広報等に周知を図ること。

●後楽二丁目地区まちづくり整備指針(素案)については、環境負荷の軽減、感染症対策とともに帰宅困難者対策や水害対策の方向性も示され、被災者の視点に立っていることが分かる。今後、具体的な計画策定を行う際には、防災まちづくりの方針として、平常



時と災害時、両方の対応を見据えた設計について検討すること。

●カーボン・オフセットは、地球温暖化対策及び将来的な脱炭素化社会の実現に向けた取組として重要である。現在全国的にゼロカーボンシティ宣言を行う自治体が徐々に増加しているところであるため、今後、他区の状況も鑑み、本宣言を視野に入れて取組を進めていくこと。

文教

1月25日 報告事項2件
3月2日 報告事項3件

報告に対する主な意見等

●区立小・中学校における体罰等については、全体的な件数は減少しているが、今後新たな体罰等の発生を防ぐことが重要である。そのためには、個々の教員が問題等を一人で抱え込むことなく、学校全体で共有し、組織として課題の解決に向けた取組を行っていくこと。

●小石川図書館の改築に当たっては、駐輪場の拡張や滞

議会運営委員会

1月29日、2月9日・26日、3月10日・26日・31日に開催しました。

主な協議事項については、次の通りです。

【主な協議事項】
・令和3年度予算案について
・2月定例議会追加提案事項について

・議員提出議案について
・意見書について
・予算審査特別委員会について
・一般質問について
・教育委員会委員任命の同意について

・令和3年3月臨時議会について
・令和3年5月招集議会の日

在型サービスの充実、ICT化等の課題が指摘されている。今後、一体整備検討会において検討が進められるが、地域住民や公園等の利用者などから幅広く意見を聞く機会を設けて、地域全体を考えた改築計画としていくこと。

●不登校状態にある児童・生徒に対する支援については、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる対応を行っている。引き続き配置日数や配置派遣人数の拡充を進めるほか、義務教育終了に伴って、生徒や保護者への支援が途切れてしまわないよう、関係機関等と連携・協力して、継続したサポートを行うこと。

特別委員会

2月22日 報告事項3件

報告に対する主な意見等

●未利用国有地等の利活用に当たっては、育成室の待機児童対策や地域包括ケアシステム等の推進など、区民ニーズに的確に対応した施設整備を行い、地域住民の要望を聞きながら丁寧に進めていくこと。

●東京2020大会のバラリニック難民選手団ホストタウン登録を目指し、関係機関と最終調整を行っていることが報告された。ホストタウンとなった際には、子どもたちが選手との交流を通じて夢を持つような事業を実施すること。また、区民が難民問題に関する理解を深め、レガシーとして、今後の難民支援につながる取組を検討すること。

自治制度・地域振興調査

(2)研究会の開催
「地域における文化観光推進」をテーマに、政策研究大学院大学教授の垣内恵美子氏を講師に迎え、研究会を開催した。

文化政策の目的と手法の変遷、コロナ後の文化観光の可能性と方向性、文化的価値と経済的価値を調和させるための戦略等について講義を受け、活発に質疑し、文化政策について理解を深めた。

特別委員会

2月25日 報告事項5件

報告に対する主な意見等

●文京区災害時受援応援計画(案)については、物資集積拠点であるシビックセンター及び総合体育館の利用計画を追加し、物資の差配等を行うコイデイナーターの配置案を記載した。これらについては、今後もシミュレーションを重ね、変更等があった場合には柔軟に対応し、必要に応じて計画の更新を行っていくこと。

●文京区事業継続計画「震災編」Ver.3(案)は、大規模災害時に、業務の継続又は早期再開への業務体制等を定めるもので、今後、この計画等の視点を取り入れて危機管理対応訓練を実施していく。有事の際に職員が円滑に対応できるように、この訓練を生かすとともに、情報の共有と周知を徹底していくこと。

●令和2年度総合防災訓練の実施結果等について、今年度の防災フェスタはオンラインでの開催となった。

オンラインでの実施は若い世代の関心を集める一方、ネット環境や機器などが整っていない高齢者等が参加しづらいという課題もあるため、今後も幅広い層が参加できる取組の検討を進めること。

災害対策調査

2月19日 報告事項8件

報告に対する主な意見等

●コロナ禍における子育て世帯への支援として、子ども宅食プロジェクトの年末年始増量便が配送されたが、子どもたちがクリスマスやお正月の雰囲気を感じられる良い取組であったと評価する。今後も、生活に不安を感じている家庭の状況に合わせた、タイムリーな支援を行っていくこと。

●病児・病後児保育事業については、春日・後楽園駅前の再開発エリアと都立駒込病院の2施設で新たに実施される。これによりニーズの充足が見込まれるが、引き続き地域偏在の解消に努めるとともに、テレワーク等による働き方の変化を踏まえ、今後は訪問型保育へのニーズ等も考慮しながら事業展開を図ること。

●(仮称)文京区児童相談所開設に向けては、児童相談所と子ども家庭支援センターの機能を明確化し、それぞれ機能強化を図ることになった。これに関連して、児童虐待が起きている家庭では、DVも同時に発生していることが多い。今後は子どもの保護のみならず、親に対する支援体制の充実についても、関係部署等と連携して取り組むこと。



子ども・子育て支援調査

2月19日 報告事項8件

報告に対する主な意見等

●コロナ禍における子育て世帯への支援として、子ども宅食プロジェクトの年末年始増量便が配送されたが、子どもたちがクリスマスやお正月の雰囲気を感じられる良い取組であったと評価する。今後も、生活に不安を感じている家庭の状況に合わせた、タイムリーな支援を行っていくこと。

●病児・病後児保育事業については、春日・後楽園駅前の再開発エリアと都立駒込病院の2施設で新たに実施される。これによりニーズの充足が見込まれるが、引き続き地域偏在の解消に努めるとともに、テレワーク等による働き方の変化を踏まえ、今後は訪問型保育へのニーズ等も考慮しながら事業展開を図ること。

●(仮称)文京区児童相談所開設に向けては、児童相談所と子ども家庭支援センターの機能を明確化し、それぞれ機能強化を図ることになった。これに関連して、児童虐待が起きている家庭では、DVも同時に発生していることが多い。今後は子どもの保護のみならず、親に対する支援体制の充実についても、関係部署等と連携して取り組むこと。

